深い学びのために
学習のポイントの解答例

1　筆者が学校で学んだと述べている「歴史」についての二つの考え方とはどのようなものか、整理してみよう。

【答】
①過去には偉大なものや面白いものがあるが、現在に近づくほど、それらはどんどん少なくなってくる。
②古い歴史は赤ちゃんのような新鮮さがあるが、現在に近づくにつれて、老人のように衰えてくる。

▼ポイント▲　①は「歴史教育のせいだったのです。」以下の三〇二・1～9をまとめる。②は「もう一つ」とあるので、三〇三・8～12をまとめる。

2　1の二つの考え方の共通点は何か、考えてみよう。

【答】　時間は不可逆的なものであり、「歴史」は、過去から現在へ、一方向的に進んでいるため、現在のわれわれと過去には距離がある。

▼ポイント▲　「学習のポイント」1を踏まえて、三〇三・15～16を自分の言葉で置き換える。

3　筆者にとって、「歴史」とはどのようなものか、以下の点について、整理してみよう。

(1)　「現在」と「歴史」の関係をどのように考えているか。
(2)　「過去」の小説とどのような関係を結びたいと考えているか。

【答】
(1)自分が生きている「現在」が、「歴史」を形成していくと考えている。
(2)過去の作品と自分が友達のようにかかわることで、これまでに他人が行った評価や、「歴史」という序列づけとは異なる意味づけを行いたいと考えている。

▼ポイント▲　「学習のポイント」1・2を踏まえ、それに対する筆者の考えをまとめて、全体の論理構造を復習する。(1)については、三〇一・2に「歴史」は自分がかかわるものであること、それにより「ヘンテコなものを作り出せる」（三〇六・1）という創造性への言及がある。(2)については、「よく知っている友達」（三〇四・12）のような関係として、過去の「評判」にとらわれずに（三〇五・10）、現在に生かす意志（三〇五・10～14）が述べられている。

言葉と表現の解答例

1　次の言葉の意味・用法を辞書で調べてみよう。
(1)うるさい（二二九・3）
(2)さびれる（三〇二・6）

⑶ **老いさらばえる**（三〇三・11）

【答】

⑴ ある物事に精通していて、細かいところまで気になる。
⑵ 活気がなくなって寂しくなる。
⑶ 歳をとってみすぼらしくなる。

2　次の言葉の意味・用法を辞書で調べ、それを使って、時間の感じ方に関わる短文を作ってみよう。

⑴ **加速度的**（三〇二・3）
⑵ **不可逆的**（三〇三・15）

【答】

⑴ 変化の度合いが急激に増していくさま。
例：一年の長さの感じ方は、年齢とともに、加速度的に短くなると言われる。
⑵ 再び元の状態には戻らないさま。
例：歴史は不可逆的とする考え方と繰り返すとする考え方がある。

（尾形　大）